



ASSESSMENT OF TECHNOLOGY
FOR BUILDING CONSTRUCTION
GBRC FOUNDATION

GBRC 性能証明 第 08-03 号

建築技術性能証明書

技術名称：HITS コラム工法

—スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法—

申込者：地研テクノ株式会社 代表取締役社長 木村 英明

神奈川県相模原市中央四丁目 5 番 5 号 アールビル 2F

(本技術の開発は、株式会社本陣、株式会社イトン、株式会社サムシングと共同で行われたものである。)

技術概要：本技術は、セメント系固化材のスラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、柱状の地盤改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。本工法の特徴は、独自形状の細断翼および排土板を設けて、改良体の品質向上を図っていることである。

開発趣旨：本技術は、掘削攪拌機に固化材スラリーの改良体内における面的な拡散を確保するための排土板を装備するとともに、地盤を細かくほぐすための細断翼を装備することで、従来工法より強度のバラツキの少ない均質な改良体を築造可能とすることを意図して開発したものである。

当財団の建築技術認証・証明事業実施要領に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2008 年 5 月 8 日

財団法人 日本建築総合試験所
理事長 森田 司郎



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および施工試験の立会により性能証明を行った。

資料①：性能証明のための説明資料

②：施工マニュアル

③：試験資料

④：立会施工試験報告書

資料①には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料②は、本工法の施工および施工管理についてのマニュアルであり、施工方法および施工管理方法が示されている。

資料③には、資料①で用いた個々のボーリングコアの観察結果や圧縮試験結果等が取りまとめられている。

証明内容：申込者が提案する「HITS コラム工法 施工マニュアル」に基づいて築造される改良体は、砂質土層および粘性土層（ローム層を含む）について 800kN/m^2 の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計及び品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層および粘性土層（ローム層を含む）で 30%が採用できると判断される。